

宮古島・石垣など離島での聖火リレーこそ辞めるべき理由

宮古島市長 座喜味一幸 様

わたしたちは2020東京オリンピック・パラリンピック(以下、オリパラ)がもたらす様々な問題を「五輪災害」ととらえ、開催の中止を訴えてきたネットワーク組織です。今回、玉城デニー沖縄県知事による沖縄島の公道での聖火リレー中止という決断を支持するとともに、宮古や石垣など離島での聖火リレー実施についても自粛すべきだという趣旨で要請書を送ります。

(1) 感染リスクに耐えられません

4月21日の沖縄タイムスの報道では、沖縄県下で115人の新規感染が確認され、宮古・八重山でも沖縄島と同様に、病床確保計画に基づく医療フェーズが最高レベルの「5」に引き上げられました。それに伴い宮古島では病床を52床から55床に、八重山では36床から44床に増床することになりました。

一方、宮古島・石垣での聖火リレーは公道での走行をふくめ、当初通りの計画を変更していません。かねてより批判のあったスポンサー企業の大型ラッピング宣伝車と100名近くの企業宣伝隊といったフルスペックのリレーは宮古島では予定されていないと思いますが、聖火リレー自体が、コカ・コーラ、TOYOTA、NTT、日本生命のスポンサー企業の広告イベントであり、リレーの企画・運営を委託された電通の利益事業(落札価格35億円)でもあることから、スポンサー企業や企画運営スタッフらだけでも、恐らく二桁の人員が宮古島に入ることになります。またNHKはすべてのリレーの生中継を行っており、沿道の警備は地元の自治体職員や警察官などが動員されるので、それらを含めると三桁の関係者、そして沿道で応援する観客らを含めると四桁を下らない人間が、聖火リレーのために移動し密集する可能性があります。

これはただでさえ脆弱な島嶼部の感染防止や医療リスクを危機的なレベルにまで高める可能性があります。IOCバウハ会長は「大会開催の前後の感染拡大に責任はない」と責任逃れをしています。聖火リレーの実施に伴う感染拡大についても同様に組織委員会は責任を取らないでしょう。「東京」のスポーツ・イベントの広告イベントのために宮古島や石垣の住民の皆さんの公共の福祉が損なわれてはならないと思っています。

(2) 離島への輸送費などは各県が負担させられる可能性

聖火リレーは、各ランナー一人に対して、スポンサー4社の巨大宣伝車に乗ったDJらの流す大音量の音楽やトークとともに、スポンサー企業の宣伝隊(各社20名ほど)の隊列が数百メートル続き、リレー走者のはるか前をにぎやかに走り抜けて、リレー走者がどこにいるのかまったくわからないような宣伝イベントです。この仕様はスタンダード・ルールとして決められており「隊列の縮小はできない」というのが組織委員会の対応です。

昨年行われる予定だったリレーでは、組織委員会が各リレーの各会場まで聖火を運び、その費用も組織委員会が持つことになっていました。

「ところが大会の簡素化が決まると、(聖火は)県までは組織委員会が運ぶものの、そこから会場までは県が運ぶこと突然(組織委員会に)求められたのです。」(週刊文春4月22日号)

聖火リレーのために7200万円を計上していた島根県は今回のリレーをまえに組織委員会からそう告げられました。沖縄県でも聖火リレー推進事業費として2020年度に1億7千万円、21年度予算案で1億2千万円を計上しています。

一民間団体であるIOC(国際オリンピック委員会)のスポーツ興行である「東京」オリンピックという地方のスポーツ・イベントの宣伝費用を、沖縄県をはじめ他の道府県が負担させられるという不都合な真実が聖火リレーの実態です。このスポーツ興行はすでに赤字が確実であり、マーケティング専任代理店である電通のマーケティングの失敗であり、スポンサー企業の失敗した投資事業になっていますが、IOCはじめ誰も責任を取ろうとはしておらず、赤字を税金で穴埋めするしかない状況になっています。組織委員会は少しでも投資の失敗を穴埋めするために「簡素化」の名のもとに、広告イベントの費用を各県に負担させようとしています。

離島でのイベントなので、移動などの課題があり、リレー隊列が上記のようなフルスペックの仕様にはならないかもしれませんが、それでもこの感染拡大の時期に不急不要の人員が多数やってくるだけでなく、人を集めた宣伝イベントをやることとなります。そして、それにかかる費用とリスクは沖縄県が負担するという極めて理不尽なイベントです。

(3) 国威発揚のナショナル・イベントのあとに自衛隊の大演習が控えています

1964年の東京オリンピックの聖火リレーは米軍統治下の沖縄から入り、ヒロシマ原爆投下の日に生まれたランナーが最終ランナーとして国立競技場の聖火台に灯火するという、戦後復興を象徴するイベントでした。また「違憲」という批判の強かった自衛隊が全面的に協力することで自衛隊の「市民権」を定着させるきっかけにもなったと言われています。

今回の東京オリンピックの聖火リレーでも、火はギリシャから空輸され、まず被災地・宮城の航空自衛隊基地に運び込まれました。そして原発事故を起こした東京電力が建設したサッカー施設「Jヴィレッジ」から「復興五輪」を祝う「聖火」リレーがスタートし、オリンピックや聖火リレーのために解除したと批判されても仕方のない帰還困難区域の一部解除地区(特別復興再生拠点区域などと呼ばれています)の高線量地区を通過して、コロナとともに全国を駆け回っています。しかし、聖火リレーが終わって間もなく、政府は東京電力福島第一原発の事故汚染水を海洋に投棄する決定を行い、「復興」が福島や被災地のためではなく東京の「復興」であることを印象づけました。

今回もし仮に感染拡大のさなかにもかかわらず宮古島・石垣で聖火リレーが強行されるのであれば、それは国威発揚の宣伝イベントという想定と容易に結びつくのではないのでしょうか。先日、NHKは「陸上自衛隊は今年9月から11月にかけて南西地域の防衛を想定し、およそ14万人いるすべての隊員が参加する過去最大規模の演習を行う計画」と報じました。オリンピック(7月23日～8月8日)とパラリンピック(8月24日～9月5日)が終了したのちに行われる中国を念頭に置いた演習であり、紛争が発生したとすれば、その最前線に置かれる石垣、宮古島も当然演習の重要地点になります。その宮古島・石垣での国威発揚のナショナル・イベントは、住民の不安や戸惑いを覆い隠す役割を果たします。そして確実に言えることは、聖火リレー出発後に福島の人々を切り捨てたように、先の大戦と同じように沖縄がふたたび「捨て石」として切り捨てられるということです。宮古島や石垣でのさらなる自衛隊配備の強化、名護辺野古をはじめ沖縄島での米軍基地の機能強化の動きなど、南西諸島全域での軍事力の強化が、聖火リレーの炎の先に見え隠れしています。

そもそも「聖火」リレーは、1936年のナチス政権によるベルリン・オリンピックから始まった、ナチスによるアリア民族の純潔を象徴する政治的プロパガンダでした。その思想はその後のユダヤ人虐殺につながりました。またギリシャからベルリンをつなぐ「聖火」リレーのコースは、その後のナチス政権による進軍コースと重なっていました。「聖火」と名付けたのもナチスでした。こうしたことから戦後の欧米では、ナチスの民族浄化を想起させる「聖火」という名称は使わず、たんに「オリンピック・トーチリレー」と呼んでいます。いまだに「聖火リレー」と呼んでいるのはナチス政権と同盟関係にあった日本くらいです。

このような「聖火」リレーにまつわる戦争の歴史を、今後の東アジアの平和の中心に位置するであろう沖縄で繰り返してはならないと思います。とくに感染症の拡大がつづくなか、かつて旧日本軍による戦争マラリアの被害に苦しんだ宮古島・石垣で、国威発揚のナショナル・イベントとしての「聖火」リレーを強行する理由はありません。

(4) 宮古島での聖火リレーの中止を組織委員会に申し入れてください

この「聖火」リレーのために「島外からどれくらいのリレー運営関係者がくるのか」「宮古島市の職員、警察官の沿道警備の規模はどの程度になるのか」「県や宮古島市の費用負担はいくらくらいになるのか」「リレー走者に自衛官はいないのか」など、不明なことが多い中で、コロナの感染拡大だけは真実です。

リレー中止に伴うキャンセル料は発生するかもしれませんが、不測の事態であり自粛や中止は当然です。また一年以上前から感染が続いていたにもかかわらず、コロナ感染拡大に伴う中止や延期を想定せずに契約書を作成した運営側にも瑕疵はあるはずで、すくなくとも中止したとしても契約以上の費用をキャンセル料で支払うことはありません。一日でも早く中止すること、つまり損切りをすることが、今後の被害拡大を最小限に抑える第一歩です。東京のスポーツ興行につかうカネがあるのなら、少しでも感染対策や経済補償に回す事が必要ではないでしょうか。感染が拡大しても組織委員会も東京都もIOCも電通も責任はとらないのですから。

私たちも組織委員会に対して聖火リレーの自粛や中止を求めています。ぜひ地元自治体からも中止の声を上げてください。沖縄島の公道でのリレーを中止したのであれば、おなじ医療フェーズ5という状況に至った宮古島や石垣などでリレーを中止することは当然を通り越して義務でもあると思います。「感染対策に全力を尽くすためにリレーを中止する」という声を、玉城デニー沖縄県知事を通して、組織委員会に届けてください。

2021年4月23日

オリンピック災害おことわり連絡会

東京都千代田区神田淡路町 1-21-7
静和ビル 1階 A ATTAC 首都圏気付